



はくざん

校訓 自主 協力 奉仕

白山小学校便り

NO. 15

熊本市立白山小学校

平成30年12月17日

餅つき大会、約200人の子どもが つきたての餅を味わいました。

～ お餅って、おいしいですね。 ～

「お餅って、おいしいですね。」と、ある1年生の男の子が私に話しかけてきました。私が「家でお餅を食べたことはないの？」とたずねると「家で食べたお餅より、柔らかくてとてもおいしいよ。」と話してくれました。

私が小学生のころ、もう50年以上も前になりますが、年末になると地域のあちらこちらで餅つきがあっており、今日はどこで、明日はどこでと聞きつけては、友達と出かけて行って振る舞いの餅を食べさせてもらっていました。家で、焼いてもらった餅にのりを巻いて食べたり、ゆで餅にきな粉をまぶしたりして食べる餅もおいしいのですが、つきたての餅は温かく、なめらかで“おいしい”ので、また、翌日も餅つきの場所へと出かけていくのでした。



ただ、餅をもらうときには、ルール（約束ごとのようなもの）があって、「どこの誰だと名前を名乗る。」、「こんにちは。」、「ありがとうございます。」、「頂きます。」など、挨拶をすることが必要でした。また、次に会った時にも挨拶をすることを忘れてはいけないことがルールだったような気がします。

今回、少なくとも私に話しかけてきた男の子は、つきたての餅は、温かく、なめらかで柔らかく喉越しもよく、おいしいということを体験できました。残念ながら学校給食では、これを体験させることはできません。地域に餅つきの行事が残っていたからこそ、体験できたことだと思います。

今回、この行事を行うにあたって青少年健全育成協議会を中心にして、交通安全協会、地域のボランティアの方々が汗をかいてくださりました。本当にありがたいと感じました。

私の子どもたちも家庭の教育だけで今があるのではなく、多くの人が自分の子どもにかかわってくださったおかげで、今があるように思います。自分の家だけでは自分の子どもを十分には育てられないからこそ、地域の中に子どもを育てる教育力を持たせ、地域中でも子どもが育っていくようにしていかなければならないと感じます。

そうだとすると、私が小学生の時に餅をもらうときにルールがあったように、餅をもらったときには、「ありがとうございます。」、「おいしかったです。」、「ごちそうさまでした。」などの言葉を餅作りに参加してくださった人に対して言わなければならないと、家庭でひとこと話をさせていただければと思います。

今後も白山小学校区の夏祭りやもちつき大会、校区民運動会などの行事が絶えることなく続いていき、その中で子どもたちが様々な経験を通して、生きる力を学んでほしいと思います。

